

星野学園小学校新聞

星野学園小学校
 埼玉県川越市上寺山 216-1
 〒350-0826 TEL.049(227)5588
 星野学園小学校 Web
www.hoshinogakuen.ed.jp/hes/

星野学園小学校 Web

本校のウェブページでは、星野っ子の日常や、楽しい行事の様子をアップしております。本紙と併せてご覧ください。

更新中!

神戸・広島の

平和学習を通しての成長

星野学園小学校六年生やガイドさんのお話から戦争と平和についてと広島において平和宿泊学習を行った。日程は五月十六日(木)から十八日(土)の三日間。事前の天気予報では雨となっていたが、子ども達の思いが通じたのか、天候にめぐまれた宿泊学習となった。この学習の目的は、大きく三つある。一つ目は、戦争の悲惨さを体感し、子ども達ひとり一人が平和について考えるということだ。広島の平和記念資料館や平和記念公園を訪れ、残された資料



千羽鶴を制作

動することである。見学班や宿泊の部屋は、子ども達自身で話し合っただけで決めた。友達とのように過ごして、思い出を作っていくのかを学ぶのも大事な学びである。当日を迎える



ガイドさんによる姫路城見学

までに、色々な活動や授業において事前学習を行ってきた。その一つは、千羽鶴の制作だ。平和を祈念して一羽ずつ大切に折り、千羽につなげて広島の平和記念公園に献鶴する。一年生から五年生までの子ども達にも協力を仰ぎ、六年生が主体となって折り方を教えている姿はとても頼もしいものだった。星野学園小学校の児童全員の思いを織り込んだ千羽鶴を携えて、六年生は平和学習へ臨んだ。

た。姫路城では班ごとにガイドさんに引率して頂き、六階の天守閣まで階段を登りながら見学した。戦いにそなえた築城の工夫や逸話など、貴重なお話を熱心に聞いていた。北野異人館街では、各国の伝統的建造物で実際に衣装を着てみたり、トリックアート館で不思議な写真を撮影したりと、楽しみながら異国の雰囲気を感じていた。広島の平和記念公園と資料館では、ガイドさんの話をうかがいながら、戦争の悲惨さを目の当たりにした。



平和祈念セレモニー

が残り、島内を歩いた。宮島では、歩いて回り風景ある景色や建造物を見学した。また、厳島神社では学業成就のご祈祷をしていただいた。宿泊学習から帰ってきたから、子ども達は学んだことをさらに深めてまとめている。総合の授業では、個別に研究テーマを決め、「平和」とつなげて調べ学習を進めていく。日本の戦争の歴史や、

四月十五日(月)より、「朝自習タイム」の取り組みが始まった。星野学園小学校の朝自習タイムは子ども自身が題材等を選び、主体的に学ぶ態度を育てることを目的とし

朝自習タイムの予定表

月	火	水	木	金	土
読書	自主学習	読書	プリント	読書	自主学習
月~金曜日		8:20~8:30			
土曜日		8:10~8:20			

を育てることを目的とし、



朝自習タイム 読書

星野の朝自習タイム

「読書」では、自分の興味のある本を各々が読み進めている。これに伴い、朝自習までの時間も図書室が利用できるようになった。「読書タイム」の取り組みも続けられており、引き続き学園全体で「読書の奨励」を行っている。児童の中にはより難しい本にチャレンジする子どももたくさんいる。「自主学習」では、自ら題材を選び、主体的に学ぶ時間としており、算数の計算問題を自分で制作し取り組む子どもや、既習未習問

を育てることを目的とし、

静かな教室環境の中で、曜日ごとに三種類の学習を行っている。朝自習タイムの内容は、読書、自主学習、プリント学習を実施している。

毎朝十分間、全学年が静かな教室環境の中で、曜日ごとに三種類の学習を行っている。朝自習タイムの内容は、読書、自主学習、プリント学習を実施している。



わが漢字を練習する子どもなど、各々が自分の課題に取り組み、主体性を持った学習を実施している。プリント学習では学級の学習状況にあった自習課題を教員が用意し取り組む時間としている。教科は国語・算数・理科・社会など、子どもの学習状況に適した課題を毎週設定している。中には朝自習の時間外で自ら取り組み子どももいる。自主課題の学習を通して自分の課題を見つけ出し、更なる「朝自習タイム」の主体的に学ぶ態度を育むことに繋がっている。(伊藤)

一年生の成長

春の遠足を通して

五月十五日(水)、星野物と触れ合ったことから、学園小学校の一年生、六命の温かさや重みを感じ十六名は埼玉県こども自然動物公園に向かった。また、きりん、カウ一年生にとってこの春の遠足は、入学後初めての課外学習のため、皆、心待ちにしていた。少し心配していた天候も予想以上に晴天となり、遠足日和となった。

星野学園小学校には多くの行事があるが、どの行事においても行事の事前、事後学習を大切にしている。今回の遠足の事前学習では、当日を迎えるまでの生活科の授業の中で、動物との接し方、クラスごと二列で整列して歩くこと、忘れ物がなないように準備をすることなどを学んで当日を迎えた。

当日、子どもたちが遠足で楽しみにしているのが、ふれあいコーナーで、うさぎやモルモットと実際に触れ合うことだ。練習通りうまくだっこのできた子もいれば、実際に触れるとなると怖がってしまったり様々な反応が見られた。しかし、どの子も皆、手のひらで小動



うさぎをだっこし、ニコリ！
は、毎年お世話になっている小池さんだ。普段何気なく食しているお米がどのように作られているのか、田植えはどのように行われているのかを知ると、一人一人が意欲的に

園内は広く、これまでに経験したことがない距離を自分の荷物を持って歩き、最後までの児童もしつかりと歩き、動物を見つらびに歓声をあげ、楽しんでいた。しかし、こうやって遠足を楽しめるのも朝早くからお弁当を作ってくれ、準備を手伝ってくれた家族の支えがあった。また、公園まで送り迎えをしてくれたバスの運転手をはじめ、引率してくれた

五月二十日(月)、二年生は春の農場体験として、JAいるま野営農センターにて「田植え」を行った。田植えのやり方を教えてくださったのは、毎年お世話になっている小池さんだ。普段何気なく食しているお米がどのように作られているのか、田植えはどのように行われているのかを知ると、一人一人が意欲的に

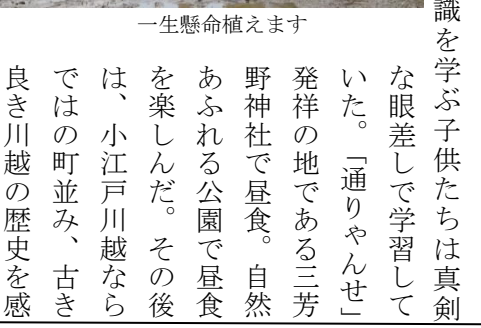
春の農場体験



おいしいお弁当、ありがとう！

多くの教員にも感謝の気持ちを伝えることができていた。この遠足を通して少し大きくなった一年生が、これからのように成長するかが楽しみです。(藤本)

取り進む様子が見られた。事前学習として、一年生のころに育てたアサガオの成長過程をヒントに、稲がどのように成長していくのかを想像しながら絵を描いた。田植え当日、子どもたちは小池さんから直接稲をもらおうところから始まり、実際に目にする稲をまじまじと観察して



一生懸命植えます

六月五日、校外学習と題した「川越めぐり」へと、川越市立博物館や本丸御殿では、ただ見学するだけでなく、係の方の説明を聞きながら積極的にたくさん質問するなど、新たな知識を学ぶ子供たちは真剣な眼差しで学習していた。「通りゃんせ」発祥の地である三芳野神社で昼食。自然あふれる公園で昼食を楽しんだ。その後は、小江戸川越ならではの町並み、古き

六月五日、校外学習と題した「川越めぐり」へと、川越市立博物館や本丸御殿では、ただ見学するだけでなく、係の方の説明を聞きながら積極的にたくさん質問するなど、新たな知識を学ぶ子供たちは真剣な眼差しで学習していた。「通りゃんせ」発祥の地である三芳野神社で昼食。自然あふれる公園で昼食を楽しんだ。その後は、小江戸川越ならではの町並み、古き



縁側で一休み

川越めぐり

星野の児童会
星野学園小学校では、四六六年生で委員会活動を行っている。図書委員会や体育委員会、放送委員会など様々な委員会活動によって、全校児童がより充実した学校生活を送ることができている。数ある委員会の中から今回は、児童会の活動内容について、児童会会長にインタビューをした。

Q1 児童会は、どのような活動をしていますか？
児童会長「児童会は現在六年生三人と五年生二人の計五人で活動しています。学校全体がよりよいものとなるよう、児童会での年間目標と

Q2 年間目標と一学期の目標、一学期の取り組みについて教えてください。
児童会長「年間目標は、【やさしさを心がけ、自分たちで行動できるようになるう】です。一学期の目標は【学年関係なく仲良くしよう】です。具体的な活動としては、五月までは新しく入ってきた一年生に顔と名前を覚えてもらうため高学年から積極的に挨拶をするよう声がけをし、朝や休み時間に教室へ遊びに行き、交流を深めました。」



児童会のメンバーでミーティング

Q3 これからやってみたいイベントなどはありますか？
このインタビューから、児童会は今年とのつながりだけでなく異学年との縦の絆も深めていきたいという思いが強く伝わってきた。縦のつながりは伝統を引き継いでいく上でもとても大切なものである。児童会を中心に星野学園小学校はさらによりよい学校となっていくだろう。(富田)

Q4 最後に、児童会が目指す理想の学校像を教えてください。
児童会長「だれとでも仲良くし、いじめや差別のない学校を目指しています。いじめは些細なことから起こると思うので、普段から学年を超えた交流をし、一人一人の絆を深めていきたいです。」